



北方領土 福島県民会議通信

平成 26 年 11 月 (第1号)

発行元: 北方領土返還要求運動福島県民会議



この「北方領土福島県民会議通信」では、北方領土返還要求運動に取り組む福島県民会議の主な活動の様子についてご紹介しています。北方領土問題について、ひとりひとりが関心を深めることで、北方領土の早期返還を実現させましょう！

平成26年度総会の開催【平成26年6月16日】

福島市の杉妻会館で平成26年度総会を開催し、平成25年度の事業報告、決算及び平成26年度の事業計画、収支予算について承認されました。

また、総会では、北方領土の早期返還の実現に向けて、本県民会議の理事を務めるボーイスカウト福島連盟理事長 増子 恵二 氏が決議文を読み上げ、盛大な拍手とともに政府に積極的な外交交渉を求める総会決議を採択しました。



平成26年度総会の開催にあたりあいさつする齋藤会長



総会決議文を読み上げる増子理事

また、総会に引き続き、国士舘大学大学院客員教授 渡邊 光一 氏を講師にお迎えして、「どうなる安倍・プーチン会談～領土交渉のゆくえ～」と題した講演会を実施しました。

講演では、日露の政府間交渉に関する最新の情報に加え、昨今のウクライナ情勢についても大変分かりやすい解説があり、具体的かつ専門性の高い講演会となりました。



講演する国士舘大学大学院客員教授 渡邊 光一 氏

～出席者から寄せられた感想～

- ・ 外交交渉について、とても分かりやすく有意義だった。
- ・ 北方領土問題のこれまでの経過、現状、そして今後のことについてよく理解できた。
- ・ 講師の広い知見と報道経験に裏打ちされた説得力のあるお話だった。
- ・ 北方領土返還に向けて、今後のビジョンの策定が必要だ。

北方領土青少年交流のつどい【平成26年7月24日～25日】

今年度、福島県民会議は北海道・東北ブロックの幹事県として活動しており、次世代を担う若者に北方領土問題の啓発を図るべく、郡山市内で「平成26年度北方領土青少年交流のつどい」を開催しました。参加者は、北海道・東北各県から集まった14名の中学生と7名の引率教諭の皆さんです。

中学生らは、1日目に「北方領土に関する模擬授業」を受けて、領土問題に関する初歩的な知識を習得した後、択捉島出身で北方領土の語り部として活躍されている三船 志代子 氏から、当時の島での暮らし、現在の島の様子についてなど様々なお話を聞かせていただきました。

また、北方領土に関する学習を終えた後は、終戦直後の島民の暮らしや島からの引き上げについて描かれているアニメーション映画「ジョバンニの島」の上映会を行い、中学生らはこの日学んだ知識を視覚的に捉えることで北方領土問題について更に理解を深めていました。

2日目には、福島空港を訪れ、空港内を見学した後、中学生らは福島空港メガソーラー施設にてソーラーパネルの巡視点検作業を体験しました。



北方領土に関する模擬授業の様子



自らの体験を描いた絵本を読み聞かせる三船志代子氏

～参加した中学生から寄せられた感想～

- ・ 昔の北方領土の状況だけではなく、今の北方領土の状況についても話を聞くことができ良かった。
- ・ 元島民の方のお話を聞いて、苦しい状況に耐えてきた村民の様子がよく伝わりました。
- ・ これからは、僕たちが北方領土の正しい知識を伝えていこうと思いました。



映画「ジョバンニの島」上映会の様子



三船志代子氏を囲んだ集合写真

北海道・東北ブロック連絡協議会【平成26年7月24日】

福島県民会議が主管となり、郡山市内で「北海道・東北ブロック連絡協議会」を開催しました。この会議は、北方領土返還要求運動の推進を図るため、北海道・東北各県の担当者らが一堂に会して意見交換を行うものです。

会議では、各道県の啓発事業に関する取組について情報共有したほか、教育者会議の現状と課題について意見交換するなど、活発な議論が交わされました。

また、内閣府北方対策本部、独立行政法人北方領土問題対策協会から今年度の取組内容について説明があり、今後の活動に向けて各団体との連携を深めることができました。



意見交換の座長を務めた瀧本事務局長



積極的に意見交換する出席者

北方領土問題青少年・教育指導者現地研修会【平成26年8月3日～6日】

中高生や社会科の先生が北方領土問題を正しく理解して、学校での北方領土教育を充実させることができるよう、根室市内で「北方領土問題青少年・教育指導者現地研修会」が開催されました。福島県からは相馬地方の先生1名が参加し、北方領土に関する模擬授業、全国の教育関係者によるグループワークなどのプログラムが行われました。

このグループワークは、先生方同士が実際の教育現場でどのような北方領土教育ができるかについて議論を重ねた上で具体的な授業構成案を作成するもので、より実践的な取組となっています。全体発表では各グループが作成した地理、歴史、公民の3分野の授業構成案が発表され、参加者は教育現場において北方領土教育を行うためのアイデアを共有していました。(写真提供:独立行政法人北方領土問題対策協会)



模擬授業の様子



グループワークの様子

北方領土返還運動全国強調月間

8月には、「北方領土返還運動全国強調月間」として全国で積極的な返還要求運動が展開されました。

今年度、本県民会議では、路線バスを活用したバスマスクによる啓発運動を福島市及び郡山市内で実施しました。



福島市及び郡山市で実施したバスマスクによる啓発広告



啓発広告デザイン

北方領土返還要求北海道・東北国民大会【平成26年8月22日】

返還要求運動の推進に向けて結集を図るため、札幌市内で「2014北方領土返還要求運動北海道・東北国民大会」が開催され、この日、北方領土問題に取り組む関係機関・団体が一堂に集結しました。

福島県民会議から参加した斎藤幸子会長は、本大会の副大会長のひとりとして壇上で大会決議を読み上げ、政府、国会に対して毅然とした外交交渉、青少年への啓発活動の促進等について要望しました。(写真提供:公益社団法人北方領土復帰期成同盟)



壇上にて大会決議を読み上げる齋藤会長



会場内の様子

【編集・発行】

北方領土返還要求運動福島県民会議

事務局：〒960-8670 福島市杉妻町2-16（福島県知事直轄県民広聴室内）

TEL:024-521-7013 Fax:024-521-7934 Mail:kouchu@pref.fukushima.lg.jp



イメージキャラクター「エリカちゃん」、「エリオくん」